

三重病院に  
キティちゃん  
登場!!



9月3日三重病院にキティちゃんが遊びに来てくれました。当日は残念ながら、雨!それでも、患者さんとご家族、病院staffまでが、キティちゃんの可愛らしさと元気さで、笑顔い〜っぱいになりました♪「キティちゃんだ〜」「本物!!」「握手したい」「ギュして」等、患者さんの思いをしっかりと受け止め、たくさん要望にも応えてくれました☆キティちゃんには、「感謝の気持ち」でいっぱいです。

今回のキティちゃんの登場は、富国生命保険相互会社のCSR活動として実施されました。同社のイメージキャラクターであるサンリオの人気キャラクター「ハローキティ」

が、小児病棟などを訪問し、入院しているお子さまやそのご家族を応援する「『ハローキティ』の病院訪問活動」の1つです。入院患者の皆さんには、「ハローキティ」との記念写真の撮影とともに、オリジナルフォトフォルダーに入れてプレゼントをしていただきました。とてもキュートでポップなフォトフォルダー(同社の社内有志が作成)は、とても素敵なデザインで、患者さんも大喜び♪本当に素敵な時間を過ごしました。キティちゃん、本当にありがとうございました♪

今後も、患者さんが少しでもホッとできる場所、心が落ち着く時間、楽しみの機会を提供していきます。今後もさまざまなイベントを企画します。お楽しみに〜♪

(児童指導員 丸澤 由美子)



©1976,2015 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL No.G

医療従事者向け  
「子ども虐待の理解」  
講演会を開催して

9月2日(水)に三重病院において、特定非営利活動法人MCサポートみっくみえ代表松岡典子さんをお招きし、「子どもの虐待の基礎的知識と早期発見と対応」というテーマで医療従事者を対象とした講演会を開催しました。

当院の職員だけでなく、地域の医療従事者の方、特別支援学校の先生など合わせて74名に御参加いただきました。松岡さんは、助産師であり、子育て何でも電話相談を柱に、各地でセミナーや講演会を開催し、児童虐待の予防活動に力を入れてみえます。今回の講演会で重要なことは、松岡さんが今まで関わった多くの事例において、虐待の背景には、子育てに伴う多くのストレスが存在しているということです。そしてその虐待を予防するためには、私たち医療者も含め、地域のサポートが必要であり、出生後からの支援だけでなく、出産前からの早期の支援が重要であるということです。



松岡さんが今まで関わった多くの事例において、虐待の背景には、子育てに伴う多くのストレスが存在しているということです。そしてその虐待を予防するためには、私たち医療者も含め、地域のサポートが必要であり、出生後からの支援だけでなく、出産前からの早期の支援が重要であるということです。

日頃から、養育者である父親や母親とコミュニケーションを図り、見えない不安やストレスなどを把握し、早期に対応できることが大切だと思います。今後、医療機関として必要とされる役割を考える貴重な機会となりました。

(教育研修係長 沢口 夏季)

医療安全管理室からのお知らせ  
～手術室～

22

手術や麻酔という言葉を聞いただけで、不安や恐怖が強くなり、ストレスを感じてしまう方も多いと思います。

今回は、小さなお子様の手術室入室方法についてお話したいと思います。

小さなお子様は、手術や麻酔といってもなかなか理解が出来ず、何をされるかわからない恐怖、知らないところへつれていかれる恐怖など、さまざまなストレスがかかります。そこで、そのストレスを少しでも軽減できるよう、患者さまに応じた入室方法を取り入れています。

1歳を越える患者さまは、日ごろから身近にいる家族の方に麻酔が効くまでの間はそばにいていただいています。(親子同伴入室)

また、抱っこやゴーゴーカート、ベッドといったその患者さまの発達状態にあった方法で入室していただいています。

手術を受けられた患者さまからは、『安心して入室できた』『眠るまで一緒にいることができてよかった』などの声が聞かれています。



今後も、より安心して手術を受けてもらえるよう、一人ひとりにあった看護が提供できるよう取り組んでいきたいと思っています。

(手術室看護師 橋本 香織)